

平成30年度 体協ニュース

No	30-㉑
行事名	加盟団体代表委員会
会 場	板橋区立小豆沢体育館 多目的室
日 時	平成 31 年 2 月 25 日 (月) 18 時 30 分～
主 催	公益財団法人板橋区体育協会

平成 31 年 2 月 25 日 (月) 小豆沢体育館多目的室にて、(公財)板橋区体育協会加盟団体代表委員会が開催されました。司会進行は福澤敏子総務部長が務め、下田賢司体育協会会長の挨拶で始まり、規程により下田会長が議長をされ、定足数の確認が行われました。

審議事項は、加藤勝一専務理事による①平成 31 年度事業計画 (案) についてと、吉田輝男常務理事による②平成 31 年度収支予算 (案) についてでした。

質疑応答では、『①トップアスリート育成スイミングクラブ事業の内容について』の質問がありました。回答としては、『小豆沢体育館に公認プールが完成したことと、2020 年開催の東京オリンピックを踏まえ、オリンピックや全日本クラスの選手を板橋区から輩出したいという思いから、区と 1 年をかけて協議をし、クラブの開催に至りました。子どもから大人までを対象とし、技術向上からトップアスリートを目指す選手に対応出来るよう、板橋区水泳連盟と板橋区立体育施設の指定管理者でもある東京ドームスポーツから、指導者を派遣しています。定員 1,000 名のところ、現在約 750 名の応募がありました。』でした。次に『②トップアスリート育成スイミングクラブのポスターについて、一般区民のプールの使用について分かりにくい。』との質問がありました。回答では、『区民に小豆沢プールの一般開放について分かりやすい方法で周知徹底するよう検討していきます。皆様も是非、見学に来ていただきたいと思います。』でした。

閉会の挨拶は、高澤誠副会長から『今年度の体協の事業もほぼ無事に終わり、感謝しております。都民大会では男子総合 3 位、女子総合 9 位の成績を収めることができました。板橋区・高島平ロードレース大会ではキッズランを初開催し、たくさん子ども達と保護者、地元の方々の参加もあり、川内・神野選手のトークショーなどで盛り上がることができました。総務部・事業部・財政部・広報部の 4 つの部がお互いに協力し合い、事業に取り組んだ結果だと思えます。これからもさらに前進していきたいです。』と話され、無事に終了となりました。(下野敏弘 記)

